



鎌田 篤司
市政クラブ

ウナギの資源保護と完全養殖化に向けた基礎研究

問 三谷水産高校が進めている研究に対する今後の支援を伺う。

答 高校との意見交換に努め、課題等を共有し、市の水産業振興策の一つとして本事業のPR等、連携支援の検討の必要があるのではないかと考える。また、今議会で提案している市産業振興基本条例に基づき、産学官連携等について協議し、新たな6次産業化への展開等、支援方法の在り方等も検討していきたい。

今後の学校創りと教育のまちづくり

問 地域に位置付いた学校創りとして、コミュニティスクール設置の進捗状況を伺う。

答 設置計画については、令和4年度に西浦



地区（西浦中・小）、5年度に蒲郡学区（蒲郡中、蒲南小、蒲東小、竹島小）で開始する。6年度には全地区で開始できるよう、他の地区でも今後準備を進める。

問 小中一貫校である瀬戸市のにじの丘学園を視察したとのことだが、感想を伺う。

答 小中一貫教育については子どもたち同士の交流、教職員の連携、協働に重点を置いて多様な教育活動に取り組んでいることをうかがえた。施設面についても申し分ないつもりとなっており、今後の蒲郡の学校づくりの参考にしていきたい。



鈴木 貴晶
自由クラブ

駅前広場におけるマルシェの活用

問 東港地区まちづくりビジョンに蒲郡駅周辺エリアが取り上げられたが、今後の取組は。

答 駅を利用する人、地域に暮らす人、まちに訪れる人によるにぎわいが生まれるような取組を考えていきたい。
問 岡崎市等では駅前にぎわい創出につなげている。市の考えは。
答 駅前広場には多くの人が集まることを想定した専用の広場空間はないが、にぎわい創出のため駅利用者の通行を阻害しないようにエリアを限定した上で、移動販売店の出店やマルシェの可能性を検討したい。先進事例を参考に事業者の出店ニーズや事業実施に伴う問題点等を把握するため、



駅前広場での社会実験を考えている。

問 大道芸等パフォーマンスを活用の可能性は。
答 社会実験の実施を検討していく中でマルシェと併せて考えたい。

学校・保護者間における連絡等について

問 学校と保護者との連絡に、スマートフォンアプリを導入する予定はないか。
答 令和5年度を目標に整備できればと考え、準備を進めている。

問 近隣市町の状況は。
答 近隣市町において学校独自に導入しているところはありますが、統一して導入するまでは至っていない。



松本 昌成
公明党市議員

社会としての繊細な方への配慮

問 生まれつき非常に感受性が強く敏感な気質をもった人をHSP（ハイリー・センシティブ・パーソン）と呼ぶが、HSPの方への配慮について伺う。

答 地区担当保健師や心理相談員が傾聴し、相談に応じるとともに、さらなる支援が必要な場合は専門的な機関とも連携し対応したい。
問 パートナーシップ制度について
答 導入の考えは。令和4年1月4日から開始する予定。
問 導入のメリットについて伺う。
答 婚姻とは違い法的な効力はないが、宣誓者がパートナーシップ宣誓書の受領証を提示することで、婚姻の関

係と同様と見なし、家族と同等のサービスを受けられる場合がある。制度面のメリットだけでなく、性的マイノリティの方々への理解が進み、個性や多様性に配慮した対応が進むことを期待している。

特殊詐欺被害対策について

問 自動通話録音機の効果についての考えと、設置に対する補助金の実施について伺う。

答 迷惑電話対策機能の一つであり、自宅で行える防犯対策として一定の効果があると考える。設置補助金は近隣市町の実施状況も踏まえ検討していきたい。

